

広報

あいづばんげ

12

2012 No.580

CONTENTS ~今月の内容~

- | | | | |
|----|-----------------|----|----------------------|
| 2 | ふくしま駅伝 | 13 | 図書室だより |
| 4 | 産業と健康と文化の祭典 | 14 | 農業委員が目を光らせています |
| 6 | わかりやすい「介護保険」 | 15 | まちの話題 |
| 8 | ごみの減量へご協力を！ | 16 | お知らせ版インフォメーション |
| 10 | 「中野竹子プロジェクト」第3弾 | 22 | 私たちの学校「会津坂下町小中学校音楽祭」 |
| 11 | 町史編さんだより | 23 | 12月の保健ガイド・戸籍の窓口 外 |
| 12 | 食育だより | 24 | 坂下中学校屋内運動場・武道場完成 |

表紙「会津坂下町小中学校音楽祭」

～市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会～

ふくしま駅伝



区間	名前	所属	タイム	区間	総合
第1区	北村 美樹	(葵 高 校 1 年)	15'08(4.0km)	34	34
第2区	宇内 和大	(喜多方桐桜高校3年)	27'30(8.2km)	30	29
第3区	遠藤 和栄	(農 業)	21'32(5.8km)	46	35
第4区	永山 義信	(会津坂下町役場)	24'05(7.3km)	16	27
第5区	永山 恵新	(喜多方高校2年)	23'17(6.7km)	22	25
第6区	田中 雄太	(川崎市小学校教員)	28'27(8.3km)	18	24
第7区	坂内 圭	(坂下中学校1年)	20'36(5.4km)	40	24
第8区	関口 涉友	(坂下中学校2年)	19'56(5.6km)	34	24
第9区	戸内基宮子	(坂下中学校3年)	10'27(2.8km)	8	24
第10区	田代 直希	(郡山自衛隊)	27'03(9.2km)	8	21
第11区	仙波 麻理	(喜多方高校2年)	16'34(3.9km)	24	21
第12区	加藤 秀法	(株 コ メ リ)	23'35(7.0km)	18	21
第13区	五十島秀平	(会津農林高校3年)	16'22(4.8km)	16	21
第14区	佐藤 祥	(喜多方桐桜高校3年)	19'26(5.7km)	10	20
第15区	三瓶 和花	(坂下中学校1年)	13'08(3.4km)	21	21
第16区	田中 啓太	(会津坂下町役場)	26'55(8.4km)	6	20

会津坂下町を朝5時に出発し、スタートとなる白河市総合運動公園陸上競技場に駆けつけた12名の町民のみなさん。

応援メッセージとメガホンを片手に1区・3区・7区・13区・16区の5区間を応援しました。

選手の力走に応援の方々も熱が入り、『ふくしま駅伝』の迫力を肌で感じていました。

ぜひ、来年もたくさんの応援バスの参加者をお待ちしております。



町の部 第6位 (総合第20位)

田代直希選手(第10区)

区間賞獲得!!

遠藤和栄選手兼監督(第3区)最年長選手に贈られるサントリー賞受賞



総合成績 (町の部)

第1位	三 春	5時間24分16秒
第2位	鏡 石	5時間26分55秒
第3位	会津美里	5時間30分02秒
第4位	猪 苗 代	5時間31分37秒
第5位	石 川	5時間33分26秒
第6位	会津坂下	5時間34分01秒

第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会は11月18日(日)に白河市総合運動公園陸上競技場スタート～福島県庁ゴール(96.5km)で開催されました。

会津坂下町チームは『ひとりの力が…みんなの力に…!』を大会に臨むテーマとして町民のみなさんに元気と勇気、そして感動を伝えたいと最後まで諦めない走りを行いました。

結果は昨年に及ばず第6位という結果でしたが、選手一人一人の力走が10年連続で入賞を果たしました。

報告会では早くも今大会よりも第25回大会で好成績を修める事を誓い合いました。

沿道やテレビ・ラジオの前での皆さんの応援が選手の頑張りを後押ししてくれました。

応援ありがとうございました。



レース経過

◇前半

今年も『町の部優勝』を目指す三春町を中心にレースが展開された。初出場となった第1区：北村美樹選手はプレッシャーに負けない走りで第2区：坂下の高校生エース宇内和大選手へ。第3区は遠藤監督が自ら激走を見せ、第4区：永山義信主将へつないだ。坂下のエース永山は大幅に順位をあげ、昨年と同じ区間を任された第5区：永山恵新選手へ。ふるさとのために帰省して走った第6区：田中雄太選手とつなぎ、前半戦の最終ランナー第7区：坂内圭選手へ。町の部第9位で前半のゴール郡山市開成山陸上競技場へ。

◇後半

上位入賞を目指して、第8区：関口渉友選手が『日頃の練習の成果を発揮できた』と良い位置で後半戦がスタート。第9区：戸内基宮子選手は町の部：区間賞にあと3秒の素晴らしい走りを、さらに第10区：田代直希選手は圧巻の走りで2年連続町の部：区間賞を獲得。その後、第11区：仙波麻理選手、第12区：加藤秀法選手、第13区：五十島秀平選手とつなぎ、第14区：佐藤祥選手も区間賞にあとわずかの走りで第15区：三瓶和花選手へ。アンカー田中啓太選手はチームメイトや応援バスのみなさんの声援を背に区間賞にあと1歩、期待通りの走りを見せ、町の部第6位で県庁のゴールテープを切った。

健康と産業と文化の祭典

健康と産業と文化の祭典が11月3日を中心に、健康管理センター・中央公民館等で開催されました。

町民体育館・中央公民館では、書や絵画などが展示され、訪れた方は、町民のみなさんの作品に見入っていました。

外の会場では、ばんげ軽トラ市等による農産物や加工品等の販売、高寺ソバ研究会による新そばの即売会、会津平和自動車学校によるシートベルト体験など、多くの団体が出展されました。

当日は悪天候にもかかわらず、各ブースには、農産物を買いたい求める方やニユースポーツ等を体験する方のにぎわいました。

表彰式 おめでと〜うございませ〜す



男女共同参画川柳コンクール



よい歯の子



私を作る朝ごはんコンテスト



緑のカーテンコンクール

表彰式・各受賞者名 (敬称略)

よい歯の子

●ばんげ保育所

岩城輝琉・佐藤文祐
千葉凛小島星穂
渡部有翼・満田好誠
二瓶愛羽・荒井碧
荒明恋山口結莉

●坂下幼稚園

福島健介・船木彩禾
加藤綾乃・酒井雄基
新妻夕美・門橋啓
門馬りん・樋口弥
生江笑葵・戸谷来翔
佐藤葵戸口千明
榊美緒・野谷千太
神川夢叶・白藤漣
川上さくら・伊藤千
小林央大・島健太郎
小井怜菜・栗城侑也
白井芽生・渡部優次郎
桑原真愛・五十嵐真人
傘木太郎・別所勇之介
角田壮佑・長澤沙雪風
嶋田優月・長谷川くるみ
小澤凌真・諸橋怜大
佐藤結以花・佐藤杏侑
渡部結花・藤橋杏大
橋谷朝陽・玉川心真
豊田茅捺伊勢亀はるか
島田茉莉齋藤右匡
小川直央・須藤結仁
飯塚央齋藤結仁
山垣杏桜子・峯岸怜央

荒井美羽・猪俣創志
武田遥名・小滝綺斗
近藤なつみ・高橋幸嗣
佐藤杏那・白井未来
佐藤結菜・佐瀬航太
高瀬結菜・佐瀬航太
齋藤陽南梨

●若宮幼稚園

河原田大樹・坂内日向
大堀颯我・黒こころ
菊池恵鈴奈・新井田晏香
渡部一樹

●金上幼稚園

藤間娃羽・蓮沼勇
武藤香音・遠方柴心
大竹珂菜・皆方柴心
乃

●広瀬幼稚園

岩淵千咲・齋藤好誠
安部旺汰・加藤啓人
水野晴菜・相良那奈
稲村由樹

献血功労者

橋本吉嗣・新國明美
高久保男・大竹洋和

環境美化

柳町寿楽会・柳和会
舟渡長寿会・牛沢婦人会
中開津老人クラブ
波多野市雄・服部ひろ子
小倉正義・新井田哲夫



軽トラ市「農産物・加工品等販売」



保健推進員によるハンドマッサージ



会津自動車学校「シートベルト体験」



保育所・幼稚園・小学校・中学校の書写・絵画展

緑のカーテンコンクール

(株)佐藤電設

- さとう 歯科矯正歯科クリニック
- 福島県立坂下高等学校
- 会津坂下町立坂下幼稚園
- 長田 洋子・仮名 修
- 高畑 郁子・堀 尚子
- 渡辺 育子・佐藤 嘉代子
- 葛岡 丈治・木村 良子
- 佐藤 せつ子・齋藤 英子

農地・水保全管理事業優良活動

●農村環境保全活動部門
金上環境保全委員会

わたしが作る朝ごはんコンテスト

●幼稚園の部

- 最優秀 河原田 大樹 (若宮)
- 優秀 松本 芽依 (広瀬)
- 優秀 大堀 太智 (金上)

●小学校下学年の部

- 最優秀 桑原 希 (坂下二年)
- 優秀 新井田 朋香 (若宮一年)
- 優秀 仲川 恵理 (坂下一年)

●小学校上学年の部

- 最優秀 青木 亨 諭 (坂下六年)
- 優秀 佐藤 栄太 (坂下五年)
- 優秀 栗城 柊也 (坂下四年)

●中学校の部

- 最優秀 笠井 奈甫 (三年)
- 優秀 佐藤 郁 (三年)
- 優秀 中川 美保 (二年)

男女共同参画川柳コンクール

●一般の部

- 特選 こにゃん
- 「散歩道 二人をつなぐ エコバック」
- 準特選 橋本 浩志
- 「お父さん こづゆの仕上げ はい、お玉」

●学生の部

- 特選 二瓶 遥
- 「夕焼けの 田んぼにうかぶ 父と母」
- 準特選 五十嵐 愛
- 「日曜日 家族みんなで 家事曜日」
- 準特選 吉田 翔
- 「保育園 育メンパパの 読み聞かせ」

※花いっぱいコンクールについては、広報10月号26ページに掲載されておりますので省略させていただきます。



赤い羽根募金ありがとう



わかりやすい「介護保険」

少子高齢化が進む中で、介護問題は避けては通れません。制度を理解しておくのは大切なことです。

介護は突然やってきます！

脳梗塞で倒れて後遺症が残る…。認知症が出てきた…等々で高齢期では、病気や障害が発生しやすくなります。

しかし、ある日突然必要となってくるのが介護サービスです。ご自身や家族の異変に気づいた後で、制度を調べたり、事業所等を吟味したりで、苦勞をされているケースが見受けられます。平穩なうちに、一度、介護保険の制度や仕組みの概要を理解しておくのは大切なことです。



介護保険は「支え合い」です

要支援・要介護の状態になった時に費用の1割を負担することで、介護サービスを利用できます。介護保険制度は「介護のある暮らし」を支えるための社会保険ですので、介護保険料の納入については、引き続きご理解をお願いいたします。

介護サービスを利用するには介護認定が必要

医療保険の場合、健康保険証を持って医療機関に行けば医療サービスを受けられますが、介護保険では、

介護保険証を出しても、「介護認定」を受けていなければサービスを受けることができません。

介護認定を申し込むと、訪問調査、介護認定審査会を経て認定結果が出るまでに、1か月ほどかかります。介護認定には主治医の意見書も必要になるので、ふだんから「かかりつけ医」を決めておくことも必要です。

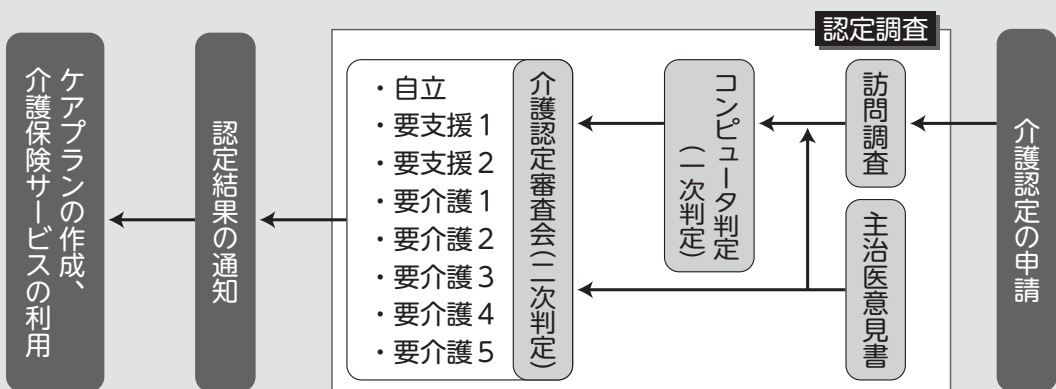
ケアプランがサービスの基盤

介護認定は、非該当、要支援1、2、要介護1～5の8つの段階に分かれます。要支援・要介護のいずれかに認定された場合、ケアプラン（サービス利用計画）を作成し、事業所を選んで契約し事業所のサービスを受けるようになります。

また、認定結果の度合いによって、受けられるサービスの限度も決められています。

なお、支給限度額を超えてサービスを受けることも可能ですが、この場合は10割負担となります。

介護サービスを受けるまでの流れ



介護サービスの種類

サービスはだまかに「在宅サービス」、「施設サービス」、「地域密着型サービス」の3つに分かれ、当町では、次の13種類の介護サービスが受けられます。利用者の約7割の方は、ホームヘルパーが派遣される訪問介護

【居宅サービス】

- ・訪問介護（ホームヘルプサービス）
- ・訪問看護
- ・通所介護（デイサービス）
- ・通所リハビリテーション
- ・短期入所生活介護（ショートステイ）
- ・短期入所療養介護
- ・特定施設入居者生活介護
- ・福祉用具貸与
- ・特定福祉用具販売

【施設サービス】

- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- ・介護老人保健施設

【地域密着型サービス】

- ・小規模多機能型居宅介護
- ・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

護、デイサービスと呼ばれる通所介護、福祉用具のレンタルなどの「在宅サービス」を利用されています。

施設は待機者が多い

施設サービスの代表的なものには「特別養護老人ホーム」があります（当町では「寿楽荘」がこれにあたります）。増加する要介護者に施設整備がなかなか追いついていない現状があります。

そのため、施設に申し込みをしても、要介護度に応じた入所の順番があるため、年単位で順番を待っていないければなりません。



介護にならないような心がけを！

高齢期はささいなことがきっかけで、体調を崩していくことがあります。要介護状態になると、元気な時には想定していなかった、家族介護の問題は勿論のこと、介護サービスを受けるための費用も発生してきます。「自分はまだ元気だから介護なんて関係ない」と思われるかもしれませんが、いつまでも健康に、自分らしく過ごすためには、元気なうちから予防していくことは大切なことです。

日常生活のなかで体を動かす習慣をつけたり、バランスの良い食事を取ったりして、健康づくりを実践していきましょう。

「地域包括支援センター」を活用しましょう

窓口になっているのが、「地域包括支援センター」です。ここは高齢者に関わる総合相談窓口でもあります。お困りごとや悩みごとなどがありましたら、ご連絡ください。

▼問い合わせ先

地域包括支援センター
☎ 84・2700

